

令和2年度 第1回 山県市総合教育会議 議事録

1 開催日時

令和2年9月28日（月曜日） 午後1時30分から午後3時まで

2 開催場所

山県市立高富中学校 1階 会議室

3 出席者

市長 林 宏優

教育長 服部 和也

教育委員会委員 大野 良輔

千葉 純

川田 八重子

堀 恵子

4 欠席者

なし

5 事務局等の出席者

日置智夫学校教育課長、土井義弘生涯学習課長、恩田拓充学校教育課主幹、

岡田陽樹企画財政課課長補佐、森川勝介高富中学校校長

6 協議事項

（1）教育ICT整備について

（2）山県の教育のブランディングについて

（3）その他

7 会議の概要

別添のとおり

※高富中学校のICT機器を使用した授業を視察後、会議を開催。

午後1時30分 開会

会議進行：学校教育課長

1 市長挨拶

市長	<p>総合教育会議という制度ができまして、市長部局と教育関係者とが情報を交換しながら教育行政を進めて行くこととなっています。</p> <p>今年はコロナ禍ということで、学校をはじめ、民間企業においても従来では想定できなかったような大変な状況となっております。</p> <p>国の方はデジタル化を推進しており、学校においても整備が進んでいますが、いろいろと課題もあるかと思います。日本は先進国として歩んできましたが、諸外国に比べ意外とデジタル化が進んでいないので、これから一気に進んでいくと思います。その反面、学校において先生と子供たちとの関わりが、情報端末を通してだけとなってよいのかなどは、考えていかなければならぬと思います。</p> <p>今年から市の保育園では、県内初となりますが、今まで手書きであった連絡帳というものをデジタル化して、スマホなどでやりとりできるようになりました。非常に便利になりましたが、手書きの温かみというものが無くなることに、抵抗を感じる方もおりました。</p> <p>市としては時代に即して、デジタル化を進めるための予算を付けていきたいと考えていますが、社会の変化は著しいものがありますので、教育委員の皆さんや学校の先生方との情報交換を密にして、これから教育行政に取り組んでいきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
----	---

2 協議事項

(1) 教育 I C T 整備について

森川校長	高富中学校における教育 I C T の整備、活用状況及び今後の課題について説明。
日置課長	市内学校の教育 I C T の整備状況及び今後の計画について説明。 出席者に意見を求める。
大野委員	授業で使用されている大型提示装置は、接続端子が一世代古いもののように見えました。それによって音声が聞きにくく感じました。
日置課長	本年度に G I G A スクール構想の中で全ての学校で校内無線 L A N 環境を整備しますので、機器の接続の問題は無くなると思っています。現況はまだ整備が終了しておらず、新しいものと古いものが混在している過渡期

	にあります。本年度中にタブレット端末を含めて各種の整備が完了すれば、問題は無くなるのではないかと考えています。
大野委員	機器が整備されたとして、次に先生がその機器を使いこなすことが大変になってくると思います。自作の教材を作るとなると大変な労力です。例えば県の高校では、インターネットへのアクセス規制をかけているので、一般に公開されている教育的な資料があったとしても、先生がそれを活用するのが難しい状況にあります。教科書ベースの部分はよいでしょうが、そこから発展させた部分を作るには、いろいろな課題が出てくると思います。
日置課長	I C T の整備によって教員の負担が増えることの無いよう考えてまいりますので、良い方策などがありましたら教えていただきたいと思います。
堀委員	画面が小さいのは気になりましたが、先生が使いこなすことができるようになれば、先生の負担が軽減できるのではないかと思いましたので、整備を進めていくのはとても大事だと思いました。ただ一方で、全てデジタルで良いのかということも思いました。実物を見る、手で触るということも大切ではないかと思います。特に低年齢では、頭で記憶することと一緒に、体で記憶することも大事になりますので、かたよりが無いようにしていただけたらと思います。
川田委員	学校休業期間中の孫の学習についてですが、動画などを配信していただき、先生方は大変だったと思いますが、とてもありがたかったです。それで、今年度整備されるタブレットについて、どのように使っていく予定ですか。
日置課長	具体的なことはこれから整理していくますが、今のノートの代わりとなるようなイメージです。また電子黒板にクラス全員分を表示するというようなことも、できるのではないかと考えています。
千葉委員	機器を使うことで授業がテンポ良く進んでいるようなイメージでした。そうすると少しつまずいた子供がいたら、置いて行かれるようになるのではないかと心配しました。普通の授業でもあるかと思いますが、非常に顕著になるのではないかと思いました。分かりやすいというのはあるかと思いますが、全てをデジタルにというのは疑問に感じます。I C T 整備とは別のことですが、エアコンを使用している教室と使用していない教室がありましたが、先生の判断となっているのですか。それと空席が多いと感じた

	教室がありましたが、コロナ禍ということで欠席する生徒がいるのでしょうか。
森川校長	エアコンについては使用の基準はありますが、体感で涼しいと感じる場合は使用しない場合もあります。空席のことにつきましては、授業によつては少人数の授業を別教室で行ったりしますので、空席があつたりします。欠席が多いという訳ではありません。
市長	現場の先生として、ＩＣＴ導入についての課題はどのようなことだと感じますか。
森川校長	ＩＣＴに詳しい先生でも、使いこなすまでにはある程度の時間が必要となりますので、そのことが先生の負担になるかもしれません。
市長	新しいことを始めるのは何でも大変ですが、先生の労力として負担になると考えますか。
森川校長	例えばタブレットは、ソフトは何を入れ、どう使っていくかによって大変さが変わってくると思います。非常に使い勝手の良いものとなるかもしれません、実際に使ってみないとわからない部分があります。
日置課長	現在各学校の先生にＩＣＴ導入で心配な部分は何かなどのアンケートをとり、集計しているところです。集計の結果などをみて、検証していくたいと考えています。
日置課長	それでは、ただ今いただきましたご意見などを参考に、今後のＩＣＴ整備と学校での学習を検討していきたいと考えますので、よろしくお願ひいたします。
(2) 山県の教育のブランディングについて	
教育長	山県市教育ブランディング構想について、提案説明。
日置課長	教育長からの提案説明について、出席者に意見を求める。
大野委員	山県方式のイエナプランを実施するとしたら、教科の決められた時間数以外で対応することになるかと思うのですが、その時間的な余裕はあるのですか。
教育長	教育課程は校長の裁量で出来る部分もあるので、工夫をすれば可能だと思います。確かに時間をつくり出すのは大変ですが、それでも実施する価値はあると思います。
大野委員	総合型地域スポーツクラブのTSCは、そろそろ「たかとみ」のTから「やまがた」のYへ移行すべきではないでしょうか。

教育長	T S Cは伝統もあり、実績を積み上げてきた自負もありますから、名称の変更は難しいのですが、新たに「チーム山県スポーツクラブ（T S C）」というものを立ち上げられないか、検討していただいています。
千葉委員	非常に楽しみというか、わくわくする気持ちを起こさせる構想かと思います。少しでも実現していけるよう、委員としても協力していかなければと思います。
川田委員	部活動の構想については、市内のどこに住んでいても、やりたいスポーツが出来るということで、非常に良いことだと思います。
堀委員	とても素敵な構想だと思います。山県市は人が少なくなっていますが、それを止めようとするだけではなく、人を引きつけようとするもので、あの学校に行きたいから山県市に移住しようとする人が出てくるくらいの勢いで行ってもらいたいです。複式学級をマイナスではなくプラスにとらえていて、イエナプランなどは本当に素敵な教育だと思います。岐阜市への研修というものもありましたが、イエナプランの研修に行くということも考えて、積極的に取り組んでいただけたらと思います。
日置課長	貴重なご意見をいただきありがとうございました。お伺いしたご意見を参考に、今後の対策について検討して参りたいと考えますので、よろしくお願ひいたします。
(3) その他	
日置課長	その他で何かあるかを伺う。 何もないことを確認し、協議事項全てが終了したので、会議を閉会する。

午後3時 閉会